

第8回常磐公園改修事業基本計画検討懇談会

- ・緑の計画(案)について
- ・常磐公園改修事業基本計画(案)
(河川空間ぬき)について

平成24年5月17日(木) 13:30～

旭川市職員会館 2階 3号室

旭川市土木部公園みどり課

スケジュール(案)

第7回
常磐公園改修事業
基本計画検討
懇談会

3月6日

- 緑の計画(案)について
緑の計画素案内容確認
- 市民アンケートについて
市民アンケート内容の確認

市民アンケート

4月1日～4月16日

- 常磐公園の緑の計画に関するアンケート調査

第8回
常磐公園改修事業
基本計画検討
懇談会

5月17日

- 緑の計画(案)について
市民アンケート結果報告
緑の計画内容の最終確認
- 常磐公園改修事業基本計画(案)について
(河川空間ぬき)
ゾーニング計画, 個別計画

パブリック
コメント

6月11日～7月10日

「常磐公園改修事業基本計画」(案)
(河川空間ぬき)

第9回
常磐公園改修事業
基本計画検討
懇談会

7月下旬

- 常磐公園改修事業基本計画について
(河川空間ぬき)

8月 「常磐公園改修事業基本計画」策定
(河川空間ぬき)

	H24.8月	9月	10月	11月	12月
検討懇談会					
河川空間検討 別ステージ				素案策定	
パブリックコメント 市民説明会				市民説明会	パブコメ
		経過報告	参考意見		
					常磐公園改修事業基本計画策定

「常磐公園改修事業基本計画」策定
(河川空間含む)

1. 市民アンケート結果

概要

市民のみなさんの常磐公園の緑に関する印象や期待している将来の姿などを把握するため実施。旭川市在住の18歳以上の方の中から、無作為に3,000人を抽出。

回答数: 1,215人 回収率: 約41%

考察

回答者属性

- ・ほぼ年齢分布通りの回収率
- ・約7割の方が計画について知っていて、年代が上がるにつれて周知度も高い

常磐公園の特徴

- ・水辺空間や文化施設など、常磐公園唯一のもの

利用状況

- ・過去1年間に公園を利用した方はほぼ5割で、年配の方・計画を知っている方の利用が多い

利用頻度

- ・年数回程度の利用がほとんど

利用目的

- ・イベントや施設利用など、常磐公園固有の特徴が多く、日常的な利用が少ないことは、駐車場の少なさや交通の便の悪さが理由であると予想される

常磐公園の特徴は他の公園には見られない水辺空間や文化施設であり、その目的とイベントで公園を利用する方が特に年代の高い方に多い。日常の文化施設を利用の目的とされる方などを公園内に導き、賑わいを創出していくことが求められる。

1. 市民アンケート結果

考察

緑に関する良い印象

- ・常磐公園の特徴として、景観面は少なかったが、緑に関しては**景観**や**快適性**に良い印象

緑に関する悪い印象

- ・目を楽ませる花や緑の量や質など**観賞価値が低い**印象
- ・改修計画について知っている方は、枯れ枝や枯れ木の危険性など常磐公園の**緑の課題を把握**している

常磐公園の緑に期待すること

- ・緑に関する良い印象と同様に、季節の変化が感じられることや心身が癒される空間など**景観**や**快適性**

公園の利用に関わらず、公園の緑には季節感があるような**景観面**と心身が癒されるような**快適性**の機能を期待している。特に景観面は良い印象を与えている一方で、観賞価値の低さが指摘されるなど、**期待値が高い**ことがわかる。緑を個別に見たときには、質の面の劣化による危険性が理解されている。

樹木の手入れ・世代交代について

- ・**計画的な後継樹の育成**が求められ、現状のまま樹木を残していくことは求められていない

1. 市民アンケート結果

考察

緑のあり方に関する観点

- ・快適性、景観、安全性の重要度はほぼ差がなく、生態系の観点の重要度は低い

樹種の選定に関する方針

- ・景観面から郷土樹種の中でも、四季を通じて楽しめる多様な樹種を選定していくが重要

配置に関する方針

- ・密植を避けて、利用者の安全性に配慮した配置が重要

ゾーンごとの考え方

- ・現状のままではなく、各ゾーンの特性や条件などを考慮し、整備の検討が必要

樹種の選定や配置に関しては、現状のままを維持していくのではなく、快適性、景観、安全性の観点に特に配慮し、整備していくことが望まれている。特に公園利用者の安全性を重視し、紅葉や花など景観に優れた樹種を適正に配置

常磐公園の緑を守り育てる活動

- ・イベントや維持管理作業など、行動・体験系の活動に市民の方の参加意欲が高い

2. 緑の計画(案)

基本的な4つの観点

安全性

快適性

景観

生態系

樹種の選定と配置に関する8つの方針

旭川として**誇れる風景**を創出するため、**現況の樹種**を土台に北海道や旭川市周辺の環境に適した多様な**郷土樹種**とします。(景観・生態系)

四季を通じて楽しむことのできる**花木**、**紅葉木**、**常緑樹**など、開花・紅葉時期、さらには**冬季**にも配慮した樹種とします。(景観・生態系)

生きものや景観に配慮した**多様な樹種**とすると共に、老朽や衰退の早い樹種だけでなく、森林としての**寿命のバランス**が上手くとれるような樹種とします。(安全性・景観・生態系)

不要な**密植を避け**、日照や通風を良くし、植物が**生長できる空間**が確保できるような配置とします。(安全性・快適性)

利用状況に合わせて、**死角や暗がり**ができないような**防犯面**に配慮した配置とします。(安全性)

現況の樹種構成を生かしながら、樹種に合わせた**適正な樹木の間隔**で配置します。(安全性・快適性)

花粉、綿毛、日照障害など、**近隣への影響や迷惑**を与えないことを配慮した樹種や配置とします。(快適性)

枯れ枝の処理などが困難な高木は、生態系や景観、管理面を考慮し、**樹林のアクセント**として配置します。(安全性、景観、生態系)

2. 緑の計画(案)

各ゾーンにおける考え方

公園の外周部
住宅地に接近するところは日照，害虫，危険性等に配慮
例．中低木や害虫のつきづらい樹種とする

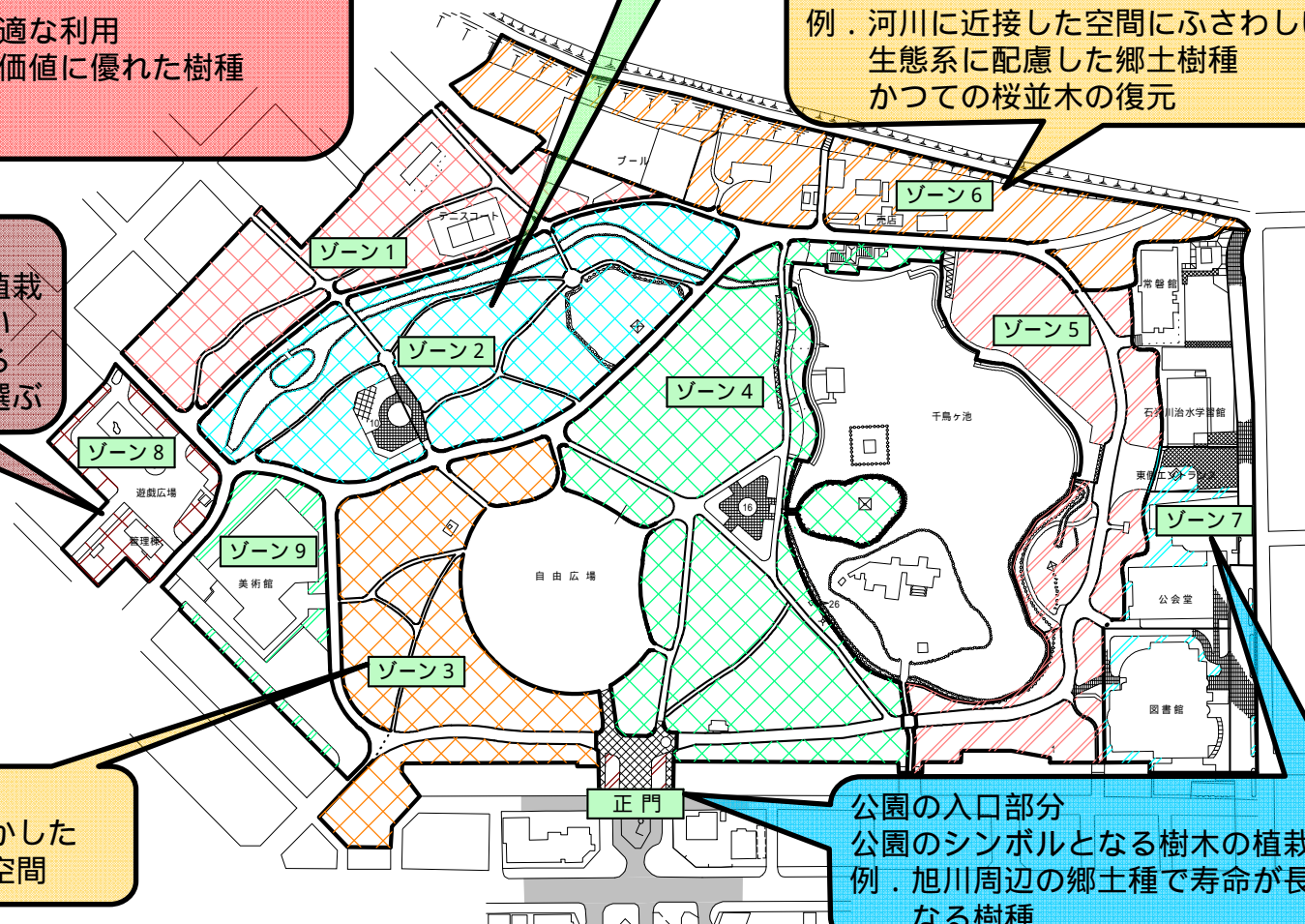
園路沿い
歩行者の安全性の確保と快適な利用
例．歩行者が楽しめる観賞価値に優れた樹種
死角を作らない配慮

遊具広場
子供たちの安全に配慮した植栽
例．死角や暗がりを作らない
トゲのある樹種を避ける
花や実をつける樹種を選ぶ

多目的広場周辺
例．現況の大きな樹木を活かした
木陰のある広々とした空間

主要な緑地区域
多種多様な樹木の配置バランスを考慮した質の高い緑の創出
例．寿命が長く緑の骨格を造る樹種
彩にあふれ観賞価値の優れた樹種
適度な日当たりと健康的な芝生の確保

堤防付近
河川や公園の緑を繋ぐ空間として，生態系や景観，安全性などを考慮
例．河川に近接した空間にふさわしい樹種
生態系に配慮した郷土樹種
かつての桜並木の復元



公園の入口部分
公園のシンボルとなる樹木の植栽
例．旭川周辺の郷土種で寿命が長く高木となる樹種

3. 常磐公園改修事業基本計画(案)

基本計画の2本柱

ゾーニング・動線計画

緑の計画

常磐公園を文化芸術ゾーンの拠点として位置づけ、8つのゾーンとこれらをつなぐ4つの動線を設定し、文化芸術ゾーンをつなぐ回遊性の向上を図る

8つのゾーン

観賞・修景ゾーン
多目的ゾーン
木立の緑陰ゾーン
親水の流れゾーン
法面を彩る草花ゾーン
草花を楽しむゾーン
遊びゾーン
スポーツゾーン

4つの動線

文化・芸術の回廊
～メイン動線
水辺の散歩道
～観賞・修景ゾーン周辺
四季の小径
～観賞・修景ゾーンと遊びゾーンをつなぐ動線
木陰と学びの散策路
～木立の緑陰ゾーン周辺

3. 常磐公園改修事業基本計画(案)

個別計画

常磐公園全体

常磐公園の新たな魅力の創出

文化芸術ゾーンを結び回遊性を向上させる公園整備
市民の文化・芸術活動を促す多目的広場の整備
常磐公園及び周辺施設とのわかりやすいサイン計画の充実

施設周辺区域

新たな賑わいの空間の創出と河川空間・常磐公園の一体化

交通渋滞の緩和と新たな賑わい空間の整備
・エントランス広場
・一時停車スペース
・インフォメーション機能

河川空間

専門家による別ステージにて検討

構成
樹木の専門家, 都市計画・景観の専門家, 生態学の専門家,
公園指定管理者, 河川管理者, 旭川市 etc